

令和 6 年度事業報告書

【本 部】

令和 7 年 2 月に前から行ってみたいと思っていた「ゆめパのじかん」の舞台になった「川崎子どもゆめパーク」、東京町田のしぜんの国保育園や山梨の社会福祉法人ゆうゆう、静岡の野中こども園、なかよし保育園、名古屋の寺子屋まんぼう等の保育施設や子育て支援センタなどを見学しました。それぞれの園で特徴のある保育内容で子ども主体の保育が実施されておりました。また、企業と連携して企業内保育園や子育て支援センターを作り、そこに自治体や企業から補助金を出させるなど、先進的な取り組みをされていました。また、東京やその近辺では待機児童が多いこともあり保育所だけでなく、支援センターや学童など多施設を運営している法人が多いことにびっくりしました。今から益々少子化が進んでいく中で、一法人一施設ではやっていけなくなる時代が来ると感じました。そのためには湧水会でもこれから先の 5 年 10 年を見据えた運営をしていく必要があると感じることができた保育の旅でした。令和 6 年度は 7 名の職員を採用し、園長交代もありましたが何の問題もなく一年を無事に終えることができました。今後も職員みんなで、さくらんぼの暮らしの保育(異年齢保育)をつくっていき、職員の処遇改善や働きやすさ(休憩時間の確保や、有給の消化、職場の雰囲気等)もこれまで同様考えていきたいと思っています。

1. 理事会の開催（対面での開催となりました）

・令和 6 年 5 月 27 日(月)

内部監査・監事監査報告、本部及び施設決算書審議、事業報告書審議、理事長所有の保護者駐車場購入について、評議員選任・解任委員の候補者推薦について、定時評議員会招集について、その他

・令和 6 年 12 月 18 日(水)

内部監査報告、人事勧告による給与・賞与の見直し、指導監査結果報告について、理事長・アドバイザーの定年延長について、次年度給与体系について、益城第三保育所民営化への公募について、その他

・令和 7 年 3 月 21 日（木）

R6 年度第 1 次補正予算、事業計画案審議、予算案審議、就業規則変更、理事長所有の土地購入について、令和 7 年 5 月の役員改選にについて、積立預金について、評議員会開催について、その他

【施 設】

異年齢保育を始め 12 年を迎えました。同年齢保育から大きく舵を切り、手探りで必死に保育を創ってきましたが、安心感、居心地の良さ、どんな子にとっても“そのままのあなたでいいんだよ”という温かいさくらんぼの雰囲気は、暮らしの保育(異年齢保育)を重ねる中で、職員みんなが感じていると思います。そしてそんな雰囲気を保護者の方も感じて下さり、保護者の方から知り合いの方にさくらんぼを紹介して下さったり、口コミで入園を希望される方が沢山いらっしゃいます。

また、年齢別保育に疑問を感じ異年齢保育に舵を切る園が増え、全国からさくらんぼの保育を見学に来られたり、保育士さんが実習に来られたりしています。見学や実習に来られて大変なこともありますが、その経験を自園に持ち帰って保育に活かして、子ども達の幸せに繋がる事が私たちの喜びでもあります。まだまだ、課題も多くありますが、“子どもも保護者も保育者も楽しい”と思える保育園を目指して、これからも暮らしの保育を深めていきたいと思っています。

1. 保育内容の充実

令和 6 年 7 月 27～29 日、熊本城ホールをメイン会場に、「第 56 回全国保育団体合同研究熊本集会」を開催しました。理事長が副実行委員長を務め、さくらんぼ保育園が事務局として支えました。現地参加が 2200 人、オンライン 5000 人が参加して大成功に終わりました。全国保育問題研究会や、九州保育団体合同集会等に提案し、毎月 1 回さくらんぼ保育園でおこなわれている異年齢研究会や熊本保育問題研究会、音楽教育の会などには積極的に参加して学んできました。

2. 入所児童の保育ニーズの多様化への対応

- ① 障がい児保育：2 名の障がい児を受け入れ、一人は医療的ケア児を預かりました。
- ② 延長保育：1 時間の延長保育をおこなっており、1 年間で延べ 1990 人が利用しました。
- ③ 自主的一時保育：希望者はありましたが、在園児が増えてきているため受け入れられませんでした。

3. 家庭と保育園の連携強化

- ① 毎週 1 回発行のおうちだよりにおいて、保育内容や子どもの様子等を知らせて、少しでも園への理解と子育て観を共有できるようにしました。
- ② お見知り遠足、クラス懇談会、ワクワクおたのしみ DAY、保育参加など行い、保護者同士が交流する機会や、異年齢保育の雰囲気などを見て頂き機会も例年通り作りました。
ダディダ（おやじの会）では、築山の丸太を交換しました。子ども達の為にと、沢山の方が協力して下さり、その後バーベキューで盛り上がりました。
- ③ 毎年 2 月に全保護者に対してのアンケート調査を実施して、保護者の園に対する要望やクレームなどを書いてもらい、それに対して 3 月にまとめて結果報告をしています。6 年度末のアンケート結果を見ると総合満足度では、95%が満足で、5%がやや満足でした。

4. 給食運営

平成 22 年度よりオーガニック給食を提供しています。五分づき米で和食を中心にして、野菜も減農薬や無農薬で旬のもの、化学調味料は一切使用していません。さくらんぼ独自の献立で和食を基本とし、栄養のバランスを考えた上で、園児の嗜好にも配慮して給食を提供しています。今年から菌ちゃんこと、内田先生にもさくらんぼの畑づくりに関わって頂き小さい子ども、畑づくりを通じて野菜に興味を持ってもらえるきっかけづくりになったと思います。

また、去年は給食室全員と事務所とで月 1 回“給食室の寄合”を定期的に行っています。暮らしの保育(異年齢保育)にとって、“食”の存在は大きく、だからこそ「給食室と保育者と、職種は違っても同じ視点で子どもを見ていこう」というテーマをもとに、給食室の中の役割分担や保育者が求めること等を話し合っている所です。

5. 安全管理

登降園時の交通安全、災害訓練（消火・避難）、不審者に対する訓練、散歩先での交通安全を実施しました。

6. 保健衛生管理

保護者アンケートでも手洗いに関してご指摘をいただき、手洗いうがいの実施などを重点的に行ってきました。児童及び職員の健康診断、歯科検診などによる健康管理に配慮し、食中毒の予防対策として手洗いうがいを励行しました。調理においては、食品衛生法に基づく指導基準を守り、食中毒を起こ

さないために衛生面に注意しました。H31 年度からはハサップに基づく衛生管理を行うために、専門業者と契約し衛生管理をさらに充実させます。

7. 地域との連携

例年、泉ヶ丘校区の子育てネットワークの代表を仰せつかり、夏休みの園庭開放や子育てサークルへのホール無償貸与、子育て講演会などもおこなっております。

【主な取り組み】

- ・おいで一緒にあそぼう会（8 月）：地域の親子を招待して園児と一緒にリズムやゲームを楽しみました。
- ・お帰りなさい卒園児（8 月）：卒園した 1 年生を呼んで里帰り体験
- ・わくわくおたのしみ DAY（10 月）：未就園児を招待して、運動遊びや親子でふれあい遊びをしています。
- ・さくらんぼ秋まつり（11 月）：卒園児や未就園児、地域の方々を案内して飲食バザーや園児の出し物などをして交流。
- ・毎年 6 年生になった卒園児と保護者、それに職員も参加して交流をしています。